

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立岐阜商業高等学校 事業実施報告書①

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

| | |
|----------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 V 】 |
| 2 実施対象者 | <p>学 校 名：岐阜県立岐阜商業高等学校</p> <p>対象学年：本校職員と全校生徒1年生～3年生 約1,300人</p> <p>保 護 者：約30人</p> |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (人権講話)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p> |
| 4 目 標 (ねらい) | <p>■オリンピックを招聘し、競技者と指導者との人間関係、ライバル選手との交流・挫折と成功などについて講演をしていただくことでスポーツへの理解と関心を高める。また、スポーツを通じて意思疎通を図るために大切なコミュニケーション力を身に付けることが、人権を守ることにつながることを学ぶ。</p> |
| 5 取組内容 | <p>■オリンピックによる講演会</p> <p>(1) 日時 平成29年11月9日(木) 13:15～14:50</p> <p>(2) 講師 金藤理絵 リオデジャネイロオリンピック200m平泳ぎ優勝</p> <p>(3) 内容 「諦めない心」</p> |
| 6 主な成果 | <p>■生徒の感想</p> <p>私は、今回の講演を受けて、諦めない心について改めて感じる事ができました。話の中で一番印象に残っていることは、どれだけ困難にぶつかったとしても、自分が決めたことに対して自分から諦めることは自分の一番の甘えになるということが印象に残りました。また、今まで一緒に活動し、サポートしていただいた方たちにも自分勝手な行動で迷惑をかけてしまうので、自分だけの考えで物事を終わらせるのはやめようと思いました。そして、私が今部活をやりやすく活動させていただいていることも、周囲の応援やサポートなどをしてくださっている先生方や両親や同じように頑張っている部活の仲間がいるおかげだと思うので、そのことを自覚して感謝の気持ちを伝えられるように結果を残していきたいと思いました。また、最後まで自分が決めたことはやり遂げたいと思いました。(2年生)</p> |

今回、リオオリンピック金メダリストの金藤理絵さんの話を聞いて、様々なことを学ぶことができた。世界という大きな舞台で金メダルを獲得した裏には、日々の努力や挫折、周りの支え、応援などがあることがわかった。金メダリストでも、挫折したり辞めたいと思うことがあることを知って、自分も練習で辛い時があるけれど、諦めずに頑張ろうと思った。自分もバスケットボールをやっているため、アスリートの心得などはすごく勉強になったし、本当に大切なことだと感じた。「勝つ方法は自分で見つけ出す」という言葉が、かっこいいと思った。バスケの試合で勝つためには、日々の練習をただこなすだけでなく、さらに自分でトレーニングなどのプラスαを工夫する。今回、学んだことをこれからの自分に活かしていく。何事にも挑戦、継続する、諦めない。(1年生)



■成果

1. 講演会

講演会の導入方法として、オリンピック決勝の映像を実際に見せることで会場の雰囲気盛り上がり、感動に包まれた中で講演会を始めることができた。また、映像によって講演者の身体能力の高さと実力を知ったり、再確認することができた。講演内容においては、トップアスリートとしての苦しさや辛さ、失敗や挫折などの経験をすることで成長していくことの大切を話された。また、競技を通してライバル選手や他国選手との交流やコミュニケーションを図ることで、多くの方々に支えられていることを知り、人間関係がいかに大切であるかなどを話していただいた。

今回、本校での講演会は「人権講話」の一環としての取組であった。競技を通じての人権講話であったにもかかわらず、生徒たちにはたいへん身近な事例を挙げていただき、大変充実した講演会であった。さらには、保護者の方からは「子供を応援する立場から裏で支えることの重要性を認識できた」という感想が多かった。

7実践において工夫した点(事業の特色)

■人権講話の一環として実施したため、他部署との連携を図りながら、本校保護者向けのチラシを作成した。



| | |
|--------------|---|
| 8 主な課題等 | ■講演会としては成果があったように思われるが、「2020 オリンピック・パラリンピック」へ向けた関心度がどれだけ高まったかは疑問である。短期間での取組ではなく長期間にわたって授業等での指導や学校行事として取組むことが必要である。 |
| 9 来年度以降の実施予定 | ■本校は、他にも様々な取り組みをしており、その中での講演会等であつたので十分にこの事業を検討・計画する時間が望まれた。スポーツの素晴らしさはもちろんであるが、それを通じてのコミュニケーション力を身に付けること、それが人権を守ることに繋がっていくということを、いろいろな場面で、それぞれの立場で継続指導していく。 |